

平成19年度(後期)市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」で出されたご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部(要約)を紹介します。

Q ごみ処理計画の将来展望について伺いたい。

A ごみ処理計画について、下野市においては、小山広域と宇都宮広域の両方に入っている。小山広域については、ごみ処理計画の策定が来年度からとなり、その中で将来的には市一本化的な状況になってくるのであろうと思っている。

Q 国分寺庁舎と国分寺公民館の間の通路で、建物の入口に喫煙スペースがあるが、市民が入ってくる場所などでの、喫煙スペースは撤去してほしい。

A 受動喫煙に配慮し、方策を講じていきたい。

Q 新庁舎の建設については、どんな状況になっているのか伺いたい。また、建設時期はいつ頃になるのか。

A 新庁舎建設については、プロジェクトチームを設置し検討している。検討の内容については、懸案事項がたくさんあり、庁舎の場所や規模、財源、現在の3庁舎をどうするかなど部局間にまたがる問題をトータルして検討していく。そして、平成19年度末までに市民の皆さんを交えた委員会を立ち上げ、様々な検討を加えていきたいと考えている。庁舎の建設になるとすれば、文教施設の耐震化の終了が見込めていないと、財政計画とのバランスの中で非常に苦しい思いをしてしまうので、そこに合うようなスキームで考えていかなければならないことだと思っている。当然、財政スキームの中でということになると、合併特例債が適用できる年次の中で考えなければならない。

Q 道の駅の進捗状況はどうなっているのか。

A 地域の皆さんの協力をいただいて、予定地が若干南に変更になった。来年度に設計に入るといいう状況である。道の駅では、情報発信拠点として、下野市を売り出していきたい。また、下野ブランドを発信できるようにしていきたい。平成23年度のオープンを予定している。

Q 国の人事院勧告に基づくと、職員の給料や期末手当を引き上げるといふふうになっているが、民間が上がらないときに市では上げてよいのか。理解ができない。

A 職員の給与については、人事院勧告を受けて、特に若手の職員の部分に対するものとなっており、若手のほうは給料が上がっているが、年配者のほうは下がっている。

Q 来年度からアステラス(日常生活自立支援事業)を導入すると聞いているが、それを含めて市民へのPRを考えてほしい。

A アステラスについては、小山市から独立して下野市と壬生町での立ち上がりとなり、社会福祉協議会でやっていくことになる。市民への周知については、市の広報、社会福祉協議会の広報及びホームページでの発信となる。また、民生委員にもアステラス業務について、よく伝えたい。